

ー女性議員をたくさんつくろうー 中嶋里美さんを招いて

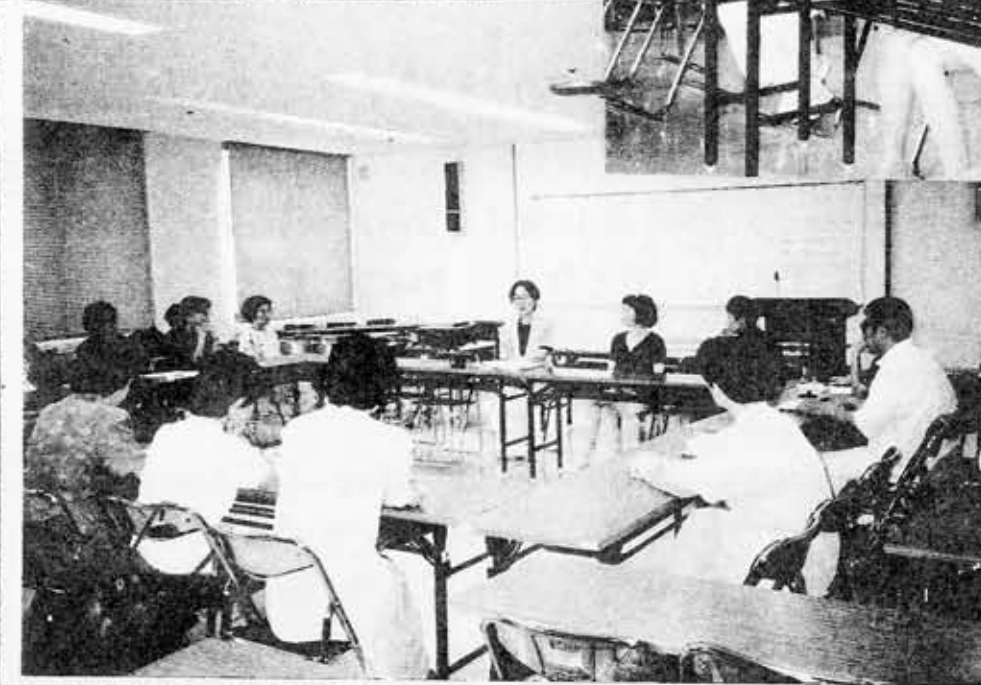
逐次刊行物

10.8.18

立身人教育会
 人権センター

日本列島に たけのこのように女性議員をふやすぞ という決意、
 に もえた 中嶋里美さん(男女平等運動家、北京JAC副代表)が熊本まで
 きたので 足をのばして 長崎まで きて
 もらった。その日は7月12日(日)で、

参議院議員選挙日であったが、小雨
 の中、20名の人々が集まり、近郊の女性
 議員も参加して、有意義な言古や、ピク
 寸劇を、時間をオーバーしながら楽しんだ。



今号はその内容を
 くわしく
 報告します
 →

①ビデオ 『女性議員50%をめざして—永田町を男女共同参画の場に』

今回参院選の立候補者6名にきく——
大腸雅子さん、小宮山 洋子さん、決田津敏子さん、福島瑞穂さん、
円より子さん、山崎繁生さんに、6つの質問をぶつけ、各々答えて
もらっている様子が写し出された。内容は、立候補の動機と、
決意するまでの困難点、男性偏重議会の問題点、NPOとの
協力について、平和維持への取り組み、経済政策などがあり、
各氏とも、いねいに答えていた。

②女性が議員になることの意義と困難度

とりあえず、女性議員を30%にする。それは、物事に影響を
与えられる数が30%だからです。

自分が議員になってはじめて、男性議員の生態がわかった。
彼らは、①議員になるといふことは、世の中をよくしようというより
名誉職と考えている。②地区の利益代表にだけなっている存在。
③ギ長・副議長になりた——特別手当がつく。〇〇委員になると、
これまた手当がつくから。(なりたがる)

④情報が入るのでお金もうけができる。

全部がそうでないとしても、そういう構造になっている。

「こういうウマい仕事に女は入れられな——っていわれちゃいます……」(注)

さて、女というより、こういう構造に乗っていない人が議員になるのは
大変だ。とてもむずかしい。甘くない。テレビで活躍したとか、本
を出したとかしていても、知名度は低いと考えていい。当選はむず
かしい。(地方の場合)。なぜかという、地元に残っている人は、すでに
投票する人を持っているからだ。だから——

地方議会に出るとする人、或は出そうという時は、1人1人に出る人
の考えを伝え、それを次々に伝えてもらうことが大切。
こまめにいくこと。1人を当選させるためには、最低3回は訪
問する。きれいにいってはいけません。つらい仕事と心得ることだ。

③だからつくろはう「バックアップ・スクール」

例…熊本の場合

「いよいよ開講」

バックアップ・スクール
in くまもと

女性が変える・
くらしを変える・

女性の力でいのちの政治を！

地盤・看板・カバンは
もういらない！

受講料 10,000円(全6回) 定員25名

*時間はいつでも13:30~16:30

4/26(日) NTT会館 開講式
『女性議員はどんな人?』(仮題)
熊本県議 小池美千代さん・平野みどりさん
『なぜ今、女性なのか?』(仮題)
副都知 吉武輝子さん
5/9・10(土・日) 水前寺共済会館
ディベート(討論)の基本を体験してみよう
『よく聞き 効果的に話す』
常葉学園短大助教授 鈴木克哉さん
5/23(土) 産文会館
『行政のしくみ』
九州大学教授 飯野祐三さん
『議員の役割』
矢部町議 中村益行さん
6/13(土) 産文会館
『男女共同参画で社会はこう変わる』(仮題)
熊本大学教授 古賀倫嗣さん
6/27(土) 市民会館
『わたしたちの理想選挙』(仮題)
佐賀市議 岩尾幸代さんとお仲間の方さん
7/11(土) 産文会館 閉講式
『統一地方選にむけて』(仮題)
副都知 中嶋里美さん

▲ 申し込み・お問い合わせは
佐藤玲子 T&F
② 河野綾子 T&F
申し込み締め切り 4月10日

くまもと・バックアップ女性の会 主催

バック・アップ・スクールは、ことばの40%、出たい人、出したいの学校だ。
政治の世界に出おくれた女性を政治的に鍛える、ノウハウを教える。
見て下さい、上の講師たちを——、そうそうなるメンバーが、たまたまの1万円、自分
を政治参入へ導いてくれる。これもすべて、政治を自分たちの手にとり戻し
たいがためのやむにやまれぬ思いなのだ。

④ 笑いをさそった寸劇『女・男交互名簿』—出演・椿カッパル



7月の参院全国区の比例代表名簿で社民党のおゆさん(土井悦生)が
 やったという女・男交互名簿を例にして、全国の公共団体の統計などすべて
 女男交互でしてもらいましょうという運動をはじめましょうよという寸劇を
 おつれあいの人と演じてくれた。飛行機の中で練習したばかりのものを生々しく演じ
 られたが、ひかりなからの会話にみんなバク笑!! 中味よりも度胸のよさと、そのかぶり
 気のない姿が心地よかった。ひょうな顔をして女男平等、政治参加を進めていく
 時代は来たのですね。私たち女が、自分の力を信じ始めたからだと思います。

以上、中嶋さん 有かとうございました。そしておつかれさま!!

私たち ぼびん・うーまんの会は 次の運動として、長崎の地に「バツ7・アツ7」
 スクールを開くことを目指す予定です。その時は、又、よろしく!!

7月4日～7月5日

北京世界女性会議3周年

全国NGOネット7-7

北京TACシンポジウム 新潟

— 行ってきました —

昨年北九州のムーブで開催され、ぼびん・うーまんの会も分科会を受持ったシンポ
 ジウムに行ってきました。

「男女平等基本法を私たちの手で」という20日のシンポジウムでは、男女共同
 参画審議会委員の大沢真理さんが基本法に盛り込まべき事項とそれ
 に対する論点整理についての議論点を手際よくまとめて語られ、聞いて
 いる私も大変興奮した。この数十年間、女たちが職場で、或は社会で
 受けてきた屈辱的な思いを取り除く文章が、実に具体的に明文化されている。
 来年3月の通常国会に出されるので、基本法をよりよくするため、論点整理に対し関心と意見が求め
 られている。